

いまさら聞けない！ 統計数字

活きるビジネス
パーソンのための
情報紙 - カツ -



なぜ必要？

そもそも統計は私たちの生活にどのように関わっているのか。「国勢調査」や「家計調査」などを担当する、日本の統計の中核機関である総務省統計局に聞いてみた。「最近、統計は行政のためのものから、社会の共通財産へと位置づけが変わった」と、奥田直彦統計情報システム課長事務代理は説明する。

もともと統計の役割は行政機関が施策を定めるために、指標として集計するもの。近代化とともに、1870年(明3)に日本の統計は始まった。日本初の近長事務代理。細かな地域別に人口動態が分かるため、マーケティングに生かせるようになった。

総務省統計局では全17調査を担当。直近では10月1日に住宅・土地統計調査がスタートする。国民にも開放されたとは言え、政策に反映される重要性は変わらぬ。正確な調査結果のために、それぞれが調査に協力することが必要だ。

短観？DI？

日本銀行が年4回、発表する「企業短期経済観測調査(短観)」は、1957年に始まり、現在は全国1万社以上に調査している。代表的な指標が「業況判断DI」で、その上げ下げは大きく報道される。数値の推移を見れば、景気が上向きか下向きかが分かるため、対象企業の業種などは総務省統計をもとに国内の産業構造を反映。実態により近い結果が出る。また「回答の回収から発表までの期間が短く、速報性に優れる」と、日本銀行福岡支店の高山浩之営業課長は説明する。そのため、今の経済の姿がわかる。ここで、あれ、DIって「という方のためにおさし」という方のためにおさし

短観は、DIは選択肢3つのうち1番目の回答数の構成比から、3番目の回答数の構成比を引いたもの。短観の業況判断は「1. 良い」「2. さほど良くない」「3. 悪い」が選択肢。例えば「良い」30%、「悪い」20%ならDIは10%。そして次回調査で「良い」30%でも「悪い」15%ならDIは15で5ポイント改善となる。

高山課長は「他の調査が不真面目なわけではない」と前置きしながらも「(短観は)とても真面目に調査している」と解説する。その一端を示すのが回答率の高さ。アンケートは聞く相手が変われば回答が異なるもの。日銀本店では、企業に協力をお願いして毎回100%近い回答率を維持して回答している。企業がいちいち回答しているのは、サンプルの違いによる振れが出ない。そのおかげで景気の変化をしっかりと捉えており、後から政府が決める景気の山谷とぴったり合う(同)という。

短観ではDI以外に、売上・収益計画や、設備投資計画などの数値も公表される。経済の先行きを示す指標として、ビジネスパーソンや株主の目線でも注目されている。

晴れの特異日？

今年の夏は猛暑や大雨など、気象の話題に事欠かなくなってきた。そんな気象についても、切っても切れないのが統計だ。全国各地の気象台・観測所などで観測されたデータは、最終的に気象庁に集まる。また気象観測は世界中で同じ時間に行きといるという「空白」ができる。と緊張する。と福岡調査官、日々の世界の気象データは、すべて気象庁が保存している。膨大な量に及ぶが、現在は必要でなくても将来は役に立つか、あるいは、10月10日は晴れの特異日と言われることがある。だが、気象庁で認定しているものではない。ただ、10月上旬は帯状の高気圧が留まるため、晴れは多い(福岡調査官)という。

「観測データの品質は重要(立石管理官)というわけだ。ちなみに、特定の気象状況が特に多いとされる「特異日」。旧体育の日である10月10日は晴れの特異日と言われることがある。だが、気象庁で認定しているものではない。ただ、10月上旬は帯状の高気圧が留まるため、晴れは多い(福岡調査官)という。

どう読むの？

統計資料はどこで入手すればいいの。政府は総務省はほぼ各府県庁の統計資料を縦覧できるウェブサイトを「e-stat」を運営。さまざまな政府統計を参照できる上に、表計算データとしても入手できるため、ビジネスの資料づくりに便利だ。日本銀行でもウェブサイトで「短観」などの資料を公表している。利用してみればどうだろうか。

「統計の落とし穴」として日常生活で知っておきたい知識を教える。『なるほど統計学 高校等部も開校、少しハイレベルな人』には統計局のウェブサイト「なるほど統計学」が役に立つ。基本的には小中学生の学習を目的にしたもの。基礎からわかりやすく解説されていて、大人にも参考になる。例えば「書き方によって事実と異なる印象を与えるグラフ」など

自動車の生産台数の謎

「カーアイランド」と呼ばれる日本有数の自動車生産地・九州。2012年度に生産された四輪自動車の生産台数をこじらしたところ、正解は142万台。だが実は一口に「142万台」と言っても、集計機関によって台数が違ってくる。経済産業省九州経済産業局は毎月四輪自動車生産台数をまとめている。同局によれば、12年度の実績は142万4515台(確報値)。これは福岡県

と大分県に立地する完成車メーカー4社の生産台数の合計とされる。ちなみに4社はトヨタ自動車九州(福岡県宮崎市)、日産自動車九州(同・同知田町)と日産九州(大分県中津市)。福岡県が独自に集計した数値もある。当然ながら142万台だ。だが九州経済産業局の公表値とは少し異なる。福岡県の場合は141万6000台を四捨五入した数値なのだ。つまり両者で約8600台の差が出てしまう。これはどういったことなのか。メーカー4社が公表して

いる生産台数を単純計算すると、141万5894台で福岡県の数値に近い。メーカーの中には1000台以下は公表しない企業があり、その差は出る。またあるメーカーは生産を担う子会社のため、親会社への販売分と生産台数が異なる場合があるという。ただこれも数値の差の8000台を超える差の説明には十分ではない。

そこで九州経済産業局調査課に直接聞いてみると、「ノックダウン車と呼ばれる製品の差ではないか」という答えが返ってきた。ノックダウン車とはある程度まで日本国内で完成させた車両を、輸出した現地で組み立てて完成車にするもの。同局がベースにする経済産業省「生産動態統計調査」では、同様の車も集計されるため、純粋な完成車のみを集計した数字とは異なるというわけだ。

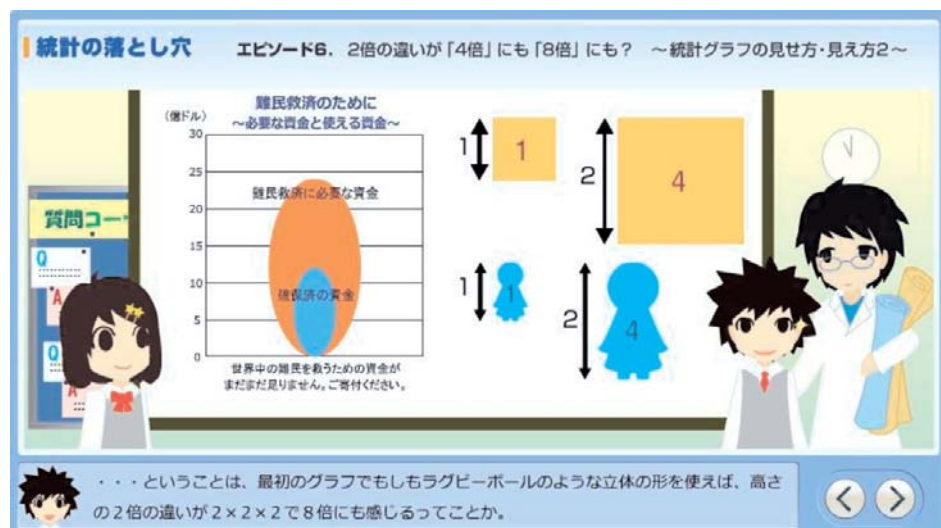
でも福岡県も、どちらの数字も間違いではないのでご安心を。



ご当地名物と統計

タイとまんじゅうに加えて、ドレッシングが1位。北九州市はサバ、キャベツ、さしみ盛り合わせがそれぞれ全国1位と、意外な組み合わせだ。ちなみに焼酎1位は宮崎市だった。

(総務省統計局『家計簿からみたファミリーライフ』より)



「統計の落とし穴」として日常生活で知っておきたい知識を教える。『なるほど統計学 高校等部も開校、少しハイレベルな人』には統計局のウェブサイト「なるほど統計学」が役に立つ。基本的には小中学生の学習を目的にしたもの。基礎からわかりやすく解説されていて、大人にも参考になる。例えば「書き方によって事実と異なる印象を与えるグラフ」など

MELMO

Micro Electric Mobility

新聞販売店で3年間の運用実績
バッテリーリースプランで初期費用も安い!
業務用電動バイク メルモM201

販売店
サービス店
募集中!

- 独自のメンテナンスサービス講習で、メンテナンスのノウハウを確実に習得できるので安心です。
- 大口エンドユーザー様にも、メンテナンス講習を受講して頂けます。自社でのメンテナンスで更に経費削減効果UP!

試乗説明会
随時開催!



積算電流方式のメーター

電動バイクに多い電圧計ではなく、バッテリー残量がわかりやすい、積算電流方式の液晶メーターを採用しています。



大容量リチウムイオンバッテリー

72V25Ahの大容量リチウムイオンバッテリー搭載で業界最長クラスの走行距離を実現。



坂道グイグイ!パワフル走行

勾配30%の坂道をラクラク走行。荷物を積んだ状態でも力強く走ります。



業務に合わせてカスタマイズ

新聞配達、ピザの宅配、業務に合わせてキャリアやボックスをカスタマイズできます。プロテクタやグリップヒーター、マップランプなども装着可能です。



※大型リアデッキ以外は全てオプションパーツとなります。オプションパーツとその装着工賃は車両価格には含まれません。

1充電で100km走行!! ※30km/h電池走行の場合